

アクションプラン

Road to 2020

～進むべき道がそこにある～

公益社団法人守山青年会議所は創立時より「明るい豊かな社会の実現」という理念のもと、志を同じくする多くの会員が今日まで活動してまいりました。この理念はどれだけ時代が変わろうとも不変であり今後もその理念の実現に向けて活動していくため、長期活動指針「C-Link Creation」を提言いたしました。提言から中間点である5年を目前に控えた今、現在の社会情勢や社会環境を加味しながら今日までの活動を再度検証し「C-Link Creation」の達成した部分と、さらに推し進めなければならない部分を明確にし、時代に即した行動計画を示す必要があります。

時代の変化と活動経過に合わせて2010年に策定された長期活動指針「C-Link Creation」を達成に導くため、明るい豊かなまちの実現に向けての道標としてこのアクションプランを策定しました。

長期活動指針「C-Link Creation」

経緯



「C-Link Creation」の達成に向けての3つのステップ



- 15周年 「明るい豊かなまちづくり」 5カ年計画
- 20周年 「ヒューマンアメニティ守山」
- 30周年 「ニューコミュニティーの共創」
- 35周年 「Navigation2010」
- 40周年 「C-Link Creation」

組織進化のための見直しと精査

総務

2011 理事会資料
のデジタル
アーカイブ
化

2012 財政規則審
査会議の設
置

公益法人格
への移行

2013 女性メン
バー活躍の
ための環境
整備

産前産後・
育児休会を
設ける

2014 公益性担保
のため事業
計画段階か
らのサポー
ト



to 2020

- 事務局運営ルールの明確化
- 財政規則のチェックと適切な予算の執行
- 情報共有のためのアーカイブ構築の推進
- 事務局貸し出しに向けた休日、夜間の管理方法の検討

オモイを伝えるメディア戦略

広報

2011 対内誌青樹
において市
内で活動す
る他団体へ
の取材

2012 対外向け広報
誌郷土内で著
名人と対談

委員長ブログ
によるリアル
タイムな発信

2013 Facebook
の導入によ
るリアルタ
イムな発信

2014 Facebook
のリアルタイムな発信と
ホームページ
との連携

日本JCの運
動の発信



fo
2020

- リアルタイムに活動の情報発信を行うためのSNSなどの利用
- 市民や他団体との双方向のネットワークづくり
- メディアとの窓口を一本化することによる連携の強化

例 会の充実と真の交流を目指し

例会
交流

2011 全メンバー
が揃って理
事長挨拶を
聞く例会

互いをリス
ペクト出来
る取り組み

2012 例会後に真
の友情を創
出する設営

富士五湖JC
との交流事
業

2013 例会や事業
後の交流の
機会を重要
視した設営

2014 委員会活
動・出向先
の活動など
LOM内の情
報共有を充
実させるた
めの設営



fo 2020

- 歴史と伝統を重んじた多様なスタイルの例会設営
- 例会以外での交流の場の創造
- 合同例会や他団体とのコラボレート

魅力ある会員の創造へ

会員 研修

2011 日本JCのセミナープログラム（TA）を
守山版にアレンジしての
実施し個々の自己分析を行う

2012 復興支援・エネルギー問題・領土領海問題など国民としての課題について学ぶ

2013 TPPやアベノミクスなど経済各方面パネリストを招き地域経済の活性化についての知識を学ぶ

2014 日本JCよりトレーナーを招き、コミュニケーション力の重要性を学ぶ



fo
2020

- 例会以外での研修への意識
- 日本のプログラムの有効活用
- 個々のスキルアップによる全体の資質向上

拡大はJC運動の根幹

会員 拡大

2011 日本JCから講師を招いての拡大セミナー

バーベキューなどの異業種交流会の開催

2012 年間を通じた拡大事業の実施

JCOBの著名人による講演の開催

2013 特別会員を招いての情報共有の場

協力事業への有資格者を誘導

2014 Facebookを活用しての拡大情報の共有



for
2020

- メンバー間のリアルタイムな情報共有
- 新入会員研修として実践的な研修の導入
- 気軽に参加できる交流企画

オモイをつなげるために

社会
開発

2011 共育・協育・
響育を柱に
JCもりやま
塾を開催

公開討論会の
開催など市長
選や市議選へ
の市民の意識
の向上を図る

2012 教育関係者か
ら実態を学ぶ

「感謝の心と
思いやりの気
持ち」を育め
るよう「2012
守山JC食育
道場」開催

2013 実行委員会を
立ち上げ「琵琶
湖の恵みや
まもり

DAY！」を開
催し50名超
の市民に参画
の機会を提供

2014 多世代での関
わりを目指し
「2014やま
もりDAY!! ～
もりやま探検
スタンプラ
リー～」を開
催関わりの少
なかった学生
を巻き込む



fo
2020

- 事業協力者との連携の強化
- 新たな地域素材の発掘
- 市民目線での継続性のある事業の開催